

工業外国語 (English for Information Engineering)		5 年・通年・1 学修単位(β)・必修 情報工学科・担当 常勤教員全員	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (70%), C-2 (30%)	〔JABEE 基準〕 (d-2a), (f)	
<b>〔教育方法等〕</b> <b>概要：</b> 講義は、卒業研究の研究室単位で行い、以下に示す卒業研究関連分野の文献を輪講形式で講読する。 指導は各研究室の教員が当たる。 本講義では、技術者として必要な英語による科学・技術文献等や各種資料を理解する。英語による技術発表の実践能力を身につける。  山口智浩：(1)Why Multi-objective Reinforcement Learning?, European Workshop on Reinforcement Learning(2015) (2)Achieving Creative Behavior Using Curious Learning Agents, AAAI Spring Symposium: Creative Intelligent System' 08(2008) 松尾：(1) M.Umeda, “Advances in Recognition Methods for Handwritten Kanji Characters”, IEUCE Trans. Inf. & Syst. (2) 日本工業英語協会, “工業英検 4 級対策”, 日本能率協会マネジメントセンター 本間：S.Leffler et al., “The Design and Implementation of the 4.3BSD UNIX Operating System”, Addison-Wesley Publishing. 内田：Ian Sommerville, “Software Engineering”, Addison-Wesley Publishing Co., 山口賢一：H. Fujiwara, “Logic Testing and Design for Testability”, MIT press. 松村：研究テーマに関する分野の英語文献・論文を精読する。各自の研究内容の要約を英語で作成する。 岡村：J. Katz, Y. Lindell, “Introduction to Modern Cryptography, Second Edition,” CRC Press. 上野：研究テーマに沿った最新の海外論文を調査・精読する。 市川：“Models in Science,” Stanford Encyclopedia of Philosophy, The Metaphysics Research Lab, 2006.  <b>授業の進め方と授業内容・方法：</b> 与えられた研究テーマについての英語文献を読み、理解することで技術者として必要な英語による科学・技術文献等や各種資料を理解する。 <b>注意点：</b> <b>関連科目</b> 英語（一般科目）、卒業研究、専門科目全般 <b>学習指針</b> 基本的な語彙、英文読解および英作文の知識や専門用語を始め、各自の研究テーマに関する基礎知識が必要である。また、講義における議論に積極的に参加することも重要である。 <b>自己学習</b> 各テーマに沿って 指導教員から配布された論文や参考資料をよく理解しておくこと。			
<b>〔教科書〕</b> 上記「講義概要」記載の文献を主に使用する。 <b>〔補助教材・参考書〕</b> 必要に応じて適宜紹介する。			
<b>〔到達目標〕</b> 各自の関連技術分野に関する基礎的な英文を正確に理解でき、要約できること。 また、自分の考えた内容を要領良く発表できること。			
<b>〔評価割合〕</b> 講読文献の内容の理解度と発表内容(70%)と議論への参加度(30%)を総合して各指導教員が評価する。			

## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己 評価*
前 期	1 週	ガイダンス	講義の目的・進め方。 英語技術文献講読の際の心構え棟を説明する。	
	2 週	輪講	各研究室単位で指定された英語文献を読み、正しく理解することができる（16 週まで同じ）。	
	3 週	同上	同上	
	4 週	同上	同上	
	5 週	同上	同上	
	6 週	同上	同上	
	7 週	同上	同上	
	8 週	同上	同上	
	9 週	同上	同上	
	10 週	同上	同上	
	11 週	同上	同上	
	12 週	同上	同上	
	13 週	同上	同上	
	14 週	同上	同上	
	15 週	同上	同上	
	16 週	同上	同上	
後 期	1 週	輪講	各研究室単位で指定された英語文献を読み、正しく理解することができる（16 週まで同じ）。	
	2 週	同上	同上	
	3 週	同上	同上	
	4 週	同上	同上	
	5 週	同上	同上	
	6 週	同上	同上	
	7 週	同上	同上	
	8 週	同上	同上	
	9 週	同上	同上	
	10 週	同上	同上	
	11 週	同上	同上	
	12 週	同上	同上	
	13 週	同上	同上	
	14 週	同上	同上	
	15 週	同上	同上	
	16 週	同上	同上	

\* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。